



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)稲川 一 (幹事)月井 雅夫
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp

第1276回例会 2013年2月6日

本日のプログラム

理事会 11:15~12:00
 例会 12:30~13:30
 卓話 深夜便レポーターが見たエジプトの今
 エジプト在住レポーター 中野真由美氏
 紹介者 村山圭治会員

地区大会のプログラム

国際ロータリー第2580地区大会(2月20日)
 (沖縄コンベンションセンター)
 登録開始 12:00
 大会点鐘 13:00
 記念講演 14:30
 記念講演講師
 ノンフィクション作家 佐野真一氏
 懇親会 18:45~20:30

♪ 本日のソングリーダー 大林 原会員 ♪

先週の例会報告 2013年1月30日

会長報告

新倉会員へ第7回マルチプル米山功労者感謝状が届いておりますので贈呈いたします。

幹事報告

- ①第2580地区ローターアクト第44回年次大会開催のご案内です。
 日時 2013年3月30日(土)13:30登録
 会場 アカデミーホール(セイコーサンシャインビル地下1階)東池袋
 登録料 5,000円 登録のみは3,000円
 登録ご希望の方は2月23日までに事務局へお申込みください。
- ②東京セントラルパークロータリークラブより創立30周年記念誌をご惠贈いただきました。
 ご覧になれる方は事務局にございますのでお申付けください。
- ③2011~2012年度のロータリーの年次報告書を各テーブルに回覧しております。
 RI資料等、ウェブサイトで閲覧可能になりましたので地区もしくは国際ロータリーのウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

出席報告

会員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	1月16日分 修正出席率
32名	31名	24名	7名	77.42%	89.66%

■ゲスト

専門学校日本医科学大学校 副校長 赤坂 知子様

■ビジター

東京中央 RC 中野 健三様

ニコニコBOX

西島会員/1月もあっと云う間に過ぎました。2月は受付のお当番です。冬来たけなば春遠からず。櫛田会員/新しい暦になり、年賀の挨拶をしているうちにもう1月経ちました。今年も災害に合わず無事過せるよう祈りたい気持です。

2月のお祝い

【会員の誕生日】
 村中秀朗会員 11日
 中山行雄会員 23日
 【夫人の誕生日】
 吉田恵子夫人 8日
 村山紀子夫人 11日
 【結婚記念日】
 島田謙司・正枝ご夫妻 1日
 大林 原・茂子ご夫妻 13日
 佐野明三郎・和子ご夫妻 19日

■ニコニコの累計 1月 191,736円
 累計 776,989円

年間100%出席表彰

23年間皆出席 齊藤 直会員
 19年間皆出席 平山 衛会員
 8年間皆出席 月井雅夫会員

次週 2月13日(水)は休会です。

自分らしく生きる

専門学校日本医科学大学校 看護師科
赤坂 知子氏



2025 年は高齢者の人口が約 3500 万人、認知症の高齢者が 320 万人になり、一人暮らし世帯・大腿骨頸部骨折・年間死亡者数が増加することは免れません。高齢者になっていく時代に生きる一人として、自分にできることは何かを考え実践していくことが大事なことだと思っています。

娘が中学校を卒業する時、父兄の原稿の依頼がありました。6 歳の娘が今は 15 歳になり、体力も、知識も精神力も本当に成長していると改めて思い、感慨深いものがありました。12 年間の私の成長の度合いはどうかと考えると、娘の成長の度合いにはとうてい追いつかず、体力は衰え、能力は低下していきます。この時から娘に追いつかれないように、人間的な成長をし続けられる自分でありたいと思うようになりました。

私は看護師として臨床で患者さんに関わってきました。30 歳代の頃、脳腫瘍の患者さんから「夕方時部屋に来てほしい」と言われました。仕事を終えて先輩と訪室しました。牧師の服装に身を包んだ息子さんが、父親である患者さんにお祈りをしました。それは死を迎えるための洗礼の儀式でした。患者さんは「これで安心してキリスト様のそばに行けます。」と本当に豊かな清々しい表情で話してくださいました。強い心、広い心、深い心に返す言葉がなかったことを思い出します。

また、肺癌で入院していた患者さんのご家族から、近々結婚する花嫁姿の娘さんと一緒に家族写真が撮れないかと相談がありました。これ以上待てない病

状で早急に行う必要がありました。病院の事務関係、医師、病棟スタッフ、ホテルのブライダル担当の方など全員で協力し病室で花嫁さん花婿さんの姿で写真を撮ることができました。その翌朝、家族皆様の見守る中静かな眠りにつかれました。本当に家族の方々の愛と、人としての暖かさを教えられました。

看護の場面から、自分はどのような生活がしたいのか、家族はどう思っているのかを把握しておく必要があると考えさせられます。まめに動く、好きなことに精通すること、そしてやり遂げることが大事だと思います。

①若い人と話し、将来の人を育てる意識を持つ

②相手を褒める

③愚痴はほどほどにする

④人を非難する前に自分を振り返る

⑤服装に気をつける

など、人や社会とのつながりを持ち、究極は自分づくりをすることが大事です。

今日ぜひ記憶に残してほしいことは、ストレスを少なくすることがとても重要であるということです。これからの生活を考えるとき、いい加減ができることが大事であることを忘れないでほしいということです。良い湯加減の入浴は、心地よく心も体もホッとします。良い+加+減ができる人は、自分の力量を知っている人だと思います。無理をしないでバランスの良いいい加減ができるようになりたいと思っています。

愛を語る男性は若い、慈愛を持つ女性は美しいといわれています。感謝をこめて「ありがとう」、心をこめて「ごめんなさい」、愛をこめて「愛してる」を日々の中に取り入れ、人間的な成長を続けていきたいと思っています。

